

令和2年3月6日

保護者の皆様

三庄小学校長 篠原 一仁

三庄小学校「学校評価アンケート」集計結果について

新型コロナウイルス感染予防のための対応として臨時休校となっております。保護者の方々には大変ご心配とご迷惑をかけております。この対応に関しまして、保護者の皆様にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、1月下旬に実施いたしました学校評価アンケートの集計結果がまとまりましたのでお知らせいたします。この結果をふまえ、次年度の教育活動に生かしていきたいと考えています。今後ともご協力よろしくお願いたします。

【考察】

◆重点目標①「基礎基本の徹底」と「確かな学力」の育成

児童、保護者、教職員とも、「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」と肯定的な評価が90%を越えており、おおむね目標を達成できたととらえる。

特に、「授業中、先生や友だちの話をよく聞いている」「宿題は必ずしている」等の学習中の態度や姿勢、家庭学習の項目などは昨年度よりも「よくあてはまる」と積極的に肯定している児童の割合が多く、成果が見られる。「朝のスキル学習（基礎学力向上）、放課後のステップアップ学習（応用力）に真剣に取り組んでいる」の質問には全児童が「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」と答えている。児童の学力定着への前向きな態度がうかがわれる。しかし、「授業中、進んで発表している」の項目では「よくあてはまる」の割合が4割というのは課題が残る。

また、県学力ステップアップテスト・全国学力学習状況調査（4年～6年）の結果は、基礎基本の力（A問題）や活用する力（B問題）とも県平均もしくはそれを上回っている項目や学年もあり、少しずつではあるが学力の向上の跡が見え始めている。

子どもの活字離れが話題になる昨今。新聞や本を活用した授業も積極的に続け、文章理解力や読む力もさらに着けていきたい

保護者の95%以上が全ての項目に「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」という回答であったが、さらに「よくあてはまる」「学校はよくがんばっている」と積極的な評価が得られるように努力を重ねていきたい。

◆重点目標②活力ある子どもの育成

賞賛によってやる気を起こさせ、それを自信につなげ、意欲を持って努力し続ける児童の育成を目指して取り組んできた。

どの活動においても進んで取り組んでいる児童の回答が多く「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」と答えた児童が90%を越えていたが、「自分には良いところがある」に「よくあてはまる」と答えた児童が6割に達していなかった。このことは重点目標①の「授業中、自分の考えを発表している」に低い回答率が目に付いたことと合わせると自尊心や自己肯定感の育成を次年度の最重点目標として継続しなければならないことである。

保護者の回答で「学校は、計画的に体力向上に取り組んでいる」「よくあてはまる」のポイントが下がったことと全校的な子どもの体力低下の報告とを真摯に受け止め、継続的な児童の体力向上を目標に計画的に取り組まなければならない。

◆重点目標③人間関係が築ける子どもの育成

子ども同士の絆の強化、子どもと教師の信頼関係の構築を図れるように取り組みを進めてきた。「学校は楽しい行事や集会、様々な活動があり、いろいろなことが経験できる」の項目「よくあてはまる」は83%で前年度より7ポイント上昇している。それに甘んじることなく、行事などの改善を進めていきたいと思う。

「友だちとなかよくしている」「困っている友だちがいたら、声をかけたり助けたりしている」の項目は、「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」と肯定的な評価が95%を越えており目標を達成できたととらえる。しかし、少数ではあるが「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と答えていることにも着眼し、今後も仲間づくり、人間関係づくりを強化していきたい。

子どもアンケート「困ったことや悩みごとがあれば、先生に相談している」の項目「よくあてはまる」は50%、また、保護者アンケート「学校は子どもの悩みや相談を親身に受け止め、対応している」の項目「よくあてはまる」は43%であり、今一度、子どもの人間関係をよく見つけ、適切な対応を心がけるとともに、家庭との連絡を密にして信頼を高めていきたい。

◆重点目標④「コミュニティ・スクール」「幼小中一貫教育」の推進

子どもアンケート「地域の人や幼稚園・中学校の先生が来てくれていろいろなことを教えてくれるのは楽しい」の項目「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」は85%、また、保護者や教職員アンケート「学校は子どもの学習のために、保護者・地域と連携した学校行事を計画・実施している」「学校は配布物やホームページを通して教育方針や学校の取り組みをわかりやすく伝えている」の項目「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」は95%を越えており、高い評価を得ている。

◆重点目標⑤家庭との連携

保護者アンケート、教職員アンケート共に、どの項目も「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」は90%以上で、概ね好評価を得ている。

しかしながら、保護者アンケート「学校は保護者が気軽に相談できるように努めている」の項目は、「よくあてはまる」の積極的肯定が50%、「あまりあてはまらない」が7%で課題が残る。保護者と教職員がともに子どもたちのよりよき成長を願い、手を携えて取り組んでいく信頼関係の構築に努めていきたい。